

～男女共同参画であなたもわたしもハッピーに～

ウィズレター

2014年
7月
第11号



発行 市川市 総務部 男女共同参画課
市川市市川 1-24-2 電話 322-6700

市川市男女共同参画センター **ウィズ** W

男女共同参画センター（愛称 ウィズ）は、性別にかかわらず対等な立場であらゆる活動に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現を目指すための拠点施設です。

愛称の“ウィズ”は、男女ともに、老いも若きもともにという意味が込められています。

◆登録団体をご紹介します

「登録団体」は、ウィズを利用しながら男女共同参画の推進に向けた活動を行っている団体で、現在 13 団体あります。今月ご紹介する団体は、「市川市男性料理同好会」です。

市川市男性料理同好会

「市川市男性料理教室」の修了生が、平成6年春に「市川市男性料理同好会」を立ち上げました。市のバックアップもあり、1年の間に会員数は20数名に成長し、その後はレシピ作成や食材の調達も自分達でできるようになりました。

「料理を通じて男性の生活的な自立を促進するとともに、健康増進と相互親睦を図ること」が同好会の目的で、昔ながらの考え方の高齢者が社会から置き去りにされないよう「自分でできることは自分で」がモットーです。発足時の会員の中には牛・豚・鶏肉がその部位によって色々な種類の肉があることすら知らない者もいましたが、回を重ねるにしたがって必要な肉の種類と数量を準備できるようになり、調理方法についても創意工夫ができるまでになりました。同好会では調理実習のほか、センターの行事への協力、色々な取材や学生の論文作成の協力等の活動も行っています。

また、新年会や忘年会、日帰りの名所旧跡の見学等の中で、プロの調理人の味も体験しながら何らかの勉強になればと思っています。同好会ではあと数名の会員の受入れが可能です。興味のある方はセンター受付まで。

活動日時：毎月（8月は除く）第4土曜日
11時頃～16時



（調理風景）

◆ウィズ・カレッジ '14を開催しました (6/18・6/25)

「ウィズ・カレッジ」は、毎年6月23日～29日の男女共同参画週間に合わせて行っている講座です。今年由市川市出身で古文書研究の第一任者、油井宏子さんを講師に招き、江戸時代の古文書を読み解きました。

1回目の題材は、幕末の嘉永元年、1848年に大坂町奉行所によって書かれた古文書です。自宅に押し入った盗賊に対峙して、身を挺して兄弟を守った、数え10歳の少女「とみ」を大人も真似できない行いと称え、銀10枚、現在の価値にしておよそ50万円を褒美として送ったことが記されています。油井さんは、崩し字を一文字ずつ解説しながら崩し方の法則や古文書特有の書式を丁寧に説明していきました。

受講者からは、「知らない世界が身近になった」「今の人たちと変わらないなあと思った」「日々精一杯がんばって生きている人たちの姿が浮かび上がってきて感動した」との感想が寄せられました。古文書は決して古いものではなく、古文書を読み解くことは、現在の私たちの生き方や働き方を考えることにつながるのですね。



(講座のひとつコマ)

◆主催事業等のご案内

7月の講座をご案内します。詳細・申し込みは4階受付へ！

男女共同参画センター実施事業は下記URLからもお覧いただけます

⇒ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/gen05/1111000008.html>

日時・場所	事業名・内容
<p>7月19日(土)</p> <p>13:00～16:00</p> <p>7階 研修ホール</p>	<p>申込受付中</p> <p>潜在力を地域で活かす</p> <p>「女性・高齢者再デビュー推進フォーラム」</p> <p>地域において、仕事やボランティアに女性や高齢者の潜在力を活用する仕組みを考えます。</p> <p>(主催：登録団体「ナルク市川」、共催：市川市)</p> <p>第1部 基調講演 「今、地域に求められるもの」 講師：山路 憲夫 氏(白梅学園大学教授)</p> <p>第2部 パネルディスカッション 「地域の潜在力を活かすために」</p> <p>定員 100名(申込先着順)</p> <p>保育 無料/10ヶ月～未就学児/定員10名/7/10までに要申込</p>